

2017/3/5

(日々雑感 42)



なんだかモルモットにされているというか、実験台にされているというか、初めてのテストケースでしかないの？というか。

そもそも起業なら、それも良いのかもしれませんが。元々上手くいっているかいらないかは別にして、ぼくも起業しようとしていたわけですし。

しかし、それ以外のことで、モルモットにされるのは、ちょっとどうなんでしょうね？とにかくあまりに不運や災厄があり過ぎます。40歳の頃から、間断なくもう23年もこんなことやられているんですから。あるいはやるはめになっているんですから。もういい加減に勘弁して欲しいですよ。

「その貴重な経験が、後代の人々の役に立つから」などと言われたとしても、やっている本人はたまったもんじゃありません。

いやいや「貴重な経験」として後代の人に役に立てばまだしも良いようなものの、今時点では、それすらも、遙か遙か、限りなく遙か遠く及びもしていないのを実感すると、ほんとうにいい加減、吐き気がしてきます。

「不条理きわまりない出来事への怒り」に満ちあふれているせいでしょうか？そうした思いが発散する「怒りのオーラ」のせいでしょうか？あるいは、かなりの重みで、上下方向、上四分の一くらいで「下からねめ上げる」ようにドンと「座っている目」のせいでしょうか？

神仏から一般の人々に対する、相手にしてみれば「逆に不条理きわまりない」「訳の分からない不気味さ」から、今日など地元の駐在所のおまわりさんや土建屋の強面お兄さんでさえ「気づかれぬように」目をそらして、ぼくの進路から微妙な外し方で「逃げて」行くのを感じさせました。

おとといの記事の折りの、どちらかという「冷静さ」と、今日の記事での「ざわめき」の間を日々、行ったり来たりしているのが実情です。朝起きてみるまでは、その日のことは分からないのです。

何が大変かと言えば、この揺れと揺らぎを手なづけ、普通の顔でいるのが、それこそ本当

に大変なのです。

しかも、毎日毎日、毎朝、毎晩。

だんだん人前が出るのがイヤになってきています。